

5 アプローチカリキュラム(例)

育
み
た
い
資
質
・
能
力

『知識及び技能の基礎』

豊かな体験を通じて、感じたり、気づいたり、分かたり、できるようになる。

- ・基本的な生活習慣や技能の獲得 ・身体感覚の育成
- ・規則性、関連性などの発見 ・言葉の理解
- ・多様な動きや表現の基礎 ・様々な気づき、発見

『思考力、判断力、表現等の基礎』

気づいたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。

- ・試行錯誤、工夫・予想、比較、分類、確認
- ・他の幼児の考えに触れ新しい考えを生み出す喜び
- ・言葉による表現、伝えあい
- ・振り返り、次への見通し ・自分なりの表現

『学びに向かう力、人間性等』

心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。

- ・安定した情緒 ・自信 ・相手の気持ちの受容
- ・好奇心、探究心 ・葛藤、折り合い ・がまん、頑張り ・自然や社会事象への興味

10の姿

①健康な心と体

②自立心

③協同性

④道徳性・規範意識の芽生え

⑤社会生活との関わり

⑥思考力の芽生え

⑦自然との関わり・生命尊重

⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

⑨言葉による伝え合い

⑩豊かな感性と表現

時期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
ねらい	自分の思いやイメージを伝えたり、相手の思いを聞いたりして折り合いをつけて生活する。			見通しを持って生活し、友達と協力して遊びを進める。			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・病気やけが等の予防に関心をもち、健康な生活に必要な生活習慣や態度を身につける。① ・室内や戸外での、いろいろな遊びや運動に積極的に取り組み、心地よさや楽しさを味わう。① ・友達と考えを出し合いながら共通の目的をもち、最後までやり遂げるようとする気持ちをもつ。② ・自分の考えや自分で決めたことなどを、筋道を立てて先生や友達に話すことができる。②⑨ ・友達や身近な人々との交流を通して、人と関わり合うことの楽しさや親しみの気持ちをもつ。③④ ・いろいろな表現活動を通し、イメージやアイデアを友達同士で出し合いながら遊びを進める。③⑥ ・遊びに必要な物を、適切な材料を考えて使い、工夫して作ったり遊んだりする。⑥ ・身近な自然現象に興味をもち、季節や生活の変化に気付いたり、自然物を遊びに取り入れたりする。⑦ ・文字や数量、時間、標識、記号などに興味や関心をもち、遊びや生活の中に取り入れる。⑧ ・絵本、紙芝居などの内容を理解しながら聞き、自分なりのイメージを膨らませることができる。⑨⑩ 			<ul style="list-style-type: none"> ・園生活の中で見通しをもち、場面に応じた行動をとったり、自分なりに目的をもって生活したりする。①② ・クラス全体の取り組みやグループの活動を通して就学への喜びや期待を膨らませ自覚をもって行動する。②③ ・係の仕事や遊びの中で、自分の役割を理解して、責任と意欲をもってやり遂げるようにする。②④ ・グループの中で自分の考えを言ったり、相手の考えを受け入れたりしながら遊びを進め、問題が起きて自分たちで解決しようとする。④⑥⑨ ・年末年始、伝統的な行事など身近な出来事に関わり、それらを生活や遊びの中に取り入れて楽しむ。⑤⑧ ・友達や異年齢の友達に親しみや思いやりをもって関わり、お世話になった人に感謝の気持ちをもつ。⑤⑨ ・材料や用具を目的や用途に合わせて選び、自分のイメージを表現したり、友達の表現に関心をもちたりする。⑦ ・冬の身近な自然現象に関心をもち、遊びに取り入れたり身の回りの変化から春の訪れに気づいたりする。⑦ 			
主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣(手洗い・うがい・感染症の予防・衣替え・防寒着の着脱など) ・運動会・リレー ・園外保育(遠足) ・発表会に向けての活動(楽器遊び・劇ごっこ) ・勤労感謝プレゼント作り ・クリスマス ・もちつき ・ドッジボール・サッカー・鬼ごっこ ・縄跳び・鉄棒・フラフープ・跳び箱など ・ごっこ遊び(お店屋さん・お祭り・学校など) ・秋の収穫 ・球根植え ・自然物を使った遊び(木の実、木の葉) 			<ul style="list-style-type: none"> ・修了に向けての活動(修了記念製作など) ・豆まき会 ・お正月遊び(かるたとり・すごろく・こままわし・年賀状ごっこなど) ・冬の自然遊び(雪・氷など) ・お別れ会 ・修了証書授与式 ・ひなまつり ・一日体験入学 			
配慮及び環境とした	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの興味・関心・発見を大切に、子どもたちが感じたことや考えたことが実現できるように寄り添い、一緒に考えながら活動を進める。 ・共通の目的に向かってイメージや考えを出し合い、協力して頑張り合う一人一人の姿をみんなで認め合うことや、子どもたちが最後まで取り組むことができる雰囲気作りを心がけ、最後までやり遂げた達成感や満足感を味わえるようにする。 ・身近な出来事や環境に触れる活動や直接体験を意識して増やし、安全面に留意しながら自然の事象や自然物などへの好奇心や探究心をもち、興味、関心をもったことを生活や遊びの中に取り入れていく。 			<ul style="list-style-type: none"> ・時間や生活の流れ等の見通しをもち、理解しやすいように保育室のレイアウトを工夫し、時計やカレンダー、予定表などを掲示する。 ・生活や遊びの中で文字や数などを意識的に取り入れ、子どもが表現したい、伝えたい気持ちを受け止める。また、場に応じた挨拶や言葉の使い方等のやりとりを確認する。 ・クラスの友達だけでなく、異年齢児との交流をもつなどして、充実した園生活が送れるようにする。 ・就学に向けて、新しい環境への期待や不安を十分に受け止め、安心して過ごすことができるようにする。 ・生活リズムや時間を意識した生活を取り入れながら自主的に生活が送れるようにする。 			
の家庭連携	<ul style="list-style-type: none"> ・参観日や行事などを通して、子どもたちの生活や活動への取り組みを伝え理解してもらうとともに、子どもの成長を保護者とともに喜び、子育てを共有しながら信頼と連携を深めていくようにする。 ・就学に向けて、小学校での生活の様子や準備等について情報を伝えたり、保護者の疑問や不安感に寄り添いながら、保護者も子どもも安心感がもてるように配慮する。 ・食事、排泄、早寝、早起きなど生活リズムを整えることの重要性や、身支度・持ち物の整理整頓、困った時には、先生に話すなどの態度や習慣を身につけることについて、園と家庭が連携して取り組む。 						

スタートカリキュラム

入学